



図書だより

2019年7月 第2号 生野高校 図書部

体育祭も修学旅行もテストも無事に終わりました。あっという間に夏休みが来た！という感じです。(私だけですかね？そんなこと思うのは。) 今年は今のところあまり暑さも酷くなくて過ごしやすい気がします。忙しい皆さんも夏休み、すこしだけ時間に余裕が持てたりしませんか？ 読書、たまにはどうでしょう？ 予約リクエストされた方、お待たせしました！ そうでない方も図書館にどうぞお越しください。新しい本がたくさん入りましたよ。貸出お待ちしております！ (=^・^=)

分類	書名	著者名	出版社
913.6	あちらにいる鬼	井上 荒野	朝日新聞出版
"	終わった人	内館 牧子	講談社文庫
"	すぐ死ぬんだから	"	講談社
"	私以外みんな不潔	能町 みね子	幻冬舎
"	暗い夜、星を数えて	彩瀬 まる	新潮文庫
"	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	文藝春秋
"	レゾンデートル	知念 実希人	実業之日本社文庫
"	ひとつむぎの手	"	新潮社
"	ニワトリは一度だけ飛べる	重松 清	朝日文庫
"	三四郎はそれから門を出た	三浦 しをん	ポプラ文庫
"	黄泉がえり again	梶尾 真治	新潮文庫
"	不死鳥少年	石田 衣良	毎日新聞出版
"	救いの森	小林 由香	角川春樹事務所
"	罪人が祈るとき	"	双葉社
"	ジャッジメント	"	双葉舎文庫
"	さざなみのよる	木皿 泉	河出書房新社
"	東京の子	藤井 太洋	KADOKAWA
"	うちの子が結婚しないので	垣谷 美雨	新潮文庫
"	きみの世界に青が散る	河野 裕	"
"	都立水商1年A組	室積 光	小学館文庫
"	連続殺人鬼 カエル男ふたたび	中山 七里	宝島社文庫
"	もういちどベートーヴェン	"	宝島社
"	わたし、定時で帰ります ハイパー	朱野 帰子	新潮社
"	スマホを落とすだけなのに 囚われの殺人鬼	志駕 晃	宝島社
"	むかしむかしあるところに死体がありました	青柳 碧人	双葉社
913・6	リカ	五十嵐 貴久	幻冬舎文庫

913・6	虎と月	柳 広司	文春文庫
〃	本好きの下剋上 第3部Ⅴ・第4部Ⅲ・Ⅳ	香月 美夜	TO ブックス
〃	十三階の神	吉川 英梨	双葉社
913・6	蘇我の娘の古事記	周防柳	ハルキ文庫
913・6	フェルメールの街	櫻部 由美子	ハルキ文庫
〃	スマホを落としただけなのに	志駕 晃	宝島社文庫
〃	鹿の王 水底の橋	上橋 菜穂子	角川書店
216・3	重ね地図で愉しむ大阪「高低差」の秘密	梅林 秀行	宝島社
366・32	残業学	中原 淳	光文社新書
379・9	ママ、怒らないで 不機嫌なしつけの連鎖がおよぼす病	斎藤裕・暁子	鳳鳴舎
319・1021	今こそ、韓国に謝ろう～そして「さらば」と言おう～	百田 尚樹	飛鳥新社文庫
379・9	子どもが幸せになることば	田中 茂樹	ダイヤモンド社
159	メシが食える大人になる！よのなかのルールブック	高濱 正伸	日本図書センター
911・56	空が青いから白を選んだのです 奈良少年刑務所詩集	寮 美千子	新潮文庫
911・124	万葉の秀歌	中西 進	ちくま学芸文庫
493・72	発達障害 生きづらさを抱える少数の「種族」たち	本田 秀夫	SB 新書
816	大人のための国語ゼミ	野矢 茂樹	山川出版
116	それゆけ！論理さん	仲島 ひとみ	筑摩書房
469	ホモ・デウス(上・下)	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社
699・6	文科系トークラジオ life のやり方	鈴木謙介ほか	TBS サービス
336・4	デザイン思考が世界を変える	ティム・ブラウン	ハヤカワノンフィクション文庫
726	へいわとせんそう	たにかわしゅんたろう	ブロンズ社
931・7	ゾンビで学ぶ AtoZ	ポール・ルイス	小鳥遊書房
361・454	なぜかまわりに助けられる人の心理術	DaiGo	宝島社
159	上野千鶴子のサバイバル語録	上野 千鶴子	文春文庫
159	だめなら逃げてみる	小池 一夫	ポプラ社
726・1	ダム・キーパー	トンコハウス	KADOKAWA
914・6	思わず考えちゃう	ヨシタケ・シンスケ	新潮社
913・6	インソムニア	辻 寛之	光文社
454・66	洞窟の疑問30	伊藤田 直史ほか	成山堂書店
454	旅するトンネル	花田 欣也	一般社団法人本の研究者
764・7	ラリルレ論	野田 洋次郎	文藝春秋
489・97	ゴリラの森、言葉の海	山極寿一×小川洋子	新潮社
914・6	しあわせしりとり	益田 ミリ	ミシマ社
726・101	ヴィオラ母さん	ヤマザキ マリ	文藝春秋
779・9	きっと大丈夫～私の乳がんダイアリー～	矢方 美紀	双葉社
911・307	生きぬくための俳句塾	北大路 翼	左右社
319	世界史で学べ！地政学	茂木 誠	祥伝社黄金文庫

780・7	筋肉の栄養学	川端 理香	朝日新書
019・9	戦略読書日記	楠木 建	ちくま文庫
812	ひらがなでよめばわかる日本語	中西 進	新潮文庫
726・1	コスモス	光用 千春	イースト・プレス
361・64	アラフォー・クライシス	NHK「クローズアップ現代+」取材班	新潮社
596・04	厨房から台所へ	タサン志摩	ダイヤモンド社
374	学校ハラスメント	内田 良	朝日新書
369・263	へろへろ	鹿子 裕文	ちくま文庫
002・7	テストの花道2・3・4	NHK「テストの花道」制作チーム	河出書房新社
〃	テストの花道流 夢がかなう人の勉強術	〃	〃
431・11	元素生活 完全版	寄藤 文平	化学同人
〃	元素検定1・2	桜井 弘	〃
336・4	上手に「切り返す」技術	斎藤 孝	辰巳出版
373・1	アクティブ・ラーニングとしての国際バカロレア	大迫 弘和	日本標準
289	世界史リブレット人 068 ラッフルズ		山川出版社
289	世界史リブレット人 092 スカルノ	鈴木 恒之	山川出版社
495・5	がん免疫療法とは何か	本庶 佑	
914・6	二度読んだ本を三度読む	柳 広司	
253・03	植民地から建国へ	和田 光弘	
332・107	平成経済 衰退の本質	金子 勝	
331・19	ゲーム理論入門の入門	鎌田 雄一郎	岩波新書
338・21	バブル経済事件の深層	奥山俊宏・村上治	
210・76	平成時代	吉見 俊哉	
326・41	アメリカ人のみた日本の死刑	デイビッド・T・ジョンソン	
311・237	マキアヴェッリ	鹿子生 浩輝	



●【2019年本屋大賞 大賞】そして、バトンは渡された 瀬尾まいこ(著) 文芸春秋

森宮優子、十七歳。継父継母が変われば名字も変わる。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。この著者にしか描けない優しい物語。「私には父親が三人、母親が二人いる。家族の形態は、十七年間で七回も変わった。でも、全然不幸ではないのだ。」身近な人が愛おしくなる、著者会心の感動作

●あちらにいる鬼

井上 荒野著

朝日新聞出版

モデルに書かれた私が読み傑作だと、感動した名作!! 作者の父井上光晴と、私の不倫が始まった時、作者は五歳だった。五歳の娘が将来小説家になることを信じて疑わなかった亡き父の魂は、この小説の誕生を誰よりも深い喜びを持って迎えたことだろう。作者の母も父に劣らない文学的才能の持主だった。作者の未来は、いっそうの輝きにみちている。

百も千もおめでとう。——瀬戸内寂聴

人気作家の長内みはるは、講演旅行をきっかけに戦後派を代表する作家・白木篤郎と男女の関係になる。一方、白木の妻である笙子は、夫の手あたり次第とも言える女性との淫行を黙認、夫婦として平穏な生活を保っていた。だが、みはるにとって白木は肉体的関係だけに終わらず、〈書くこと〉による繋がりを深めることで、かけがえのない存在となっていく。二人のあいだを行き来する白木だが、度を越した女性との交わりは止まることがない。白木=鬼を通じて響き合う二人は、どこにたどりつくのか——。父・井上光晴と母、そして瀬戸内寂聴の〈特別な関係〉に、はじめて光をあてた真正正銘の問題作にして、満を持して放つ著者の最高傑作!

●ラルレ論

野田 洋次郎(著)

文藝春秋

カリスマ的人気を誇るロックバンド RADWIMPS の全ての楽曲の作詞作曲を担当する野田洋次郎。

深い思索の末に辿り着いた恋愛観や死生観、音楽論、世界中で起こっている様々なニュースに対する考察、はたまた6月6日公開の映画『トイレのピエタ』での主演を決意するまでの胸の内などが、その楽曲を想起させる独自のテンポで綴られた、日記形式のエッセイ。

●旅するトンネル

花田 欣也著

日本の研究社

全国のトンネルをひとり歩いた熟年サラリーマンの記録★「旅するトンネル〜クルマの速度じゃわからない、トンネルの魅力」〜明治の土木遺産から旧道の秘境トンネルまで全国 16 箇所を厳選! 特別編として、「トンネルに光を差した女優 ペ・ドゥナの真摯」も掲載〜 おはよう朝日で紹介されていました。

●都立水商 1年A組

室積 光著

小学館文庫

水商売専門の都立高校発足! ? ドラマ化原作!

平成××年3月2日、東京都教育局は、水商売に関する専門教育を行う

都立高校を歌舞伎町に設立すると発表。正称「東京都立水商業高等学校」。

ホステス科、ホスト科など七学科で発足された「水商」だが、集まったのは

問題児ばかり。彼らに水商売の未来を支えることはできるのか!? その道のプロが指導する奇想天外な授業、みんなが燃えた甲子園…。世間の白い目なんか笑い飛ばす、エネルギーでちょっと泣けちゃう異色の青春コメディ。

いじめられ、カンニングの濡れ衣まで着せられた淳史は、「水商」にしか進学できなかった。しかし、入学の初日にマネージャー科の学級委員長に指名されてしまう。くせのつよい同級生や先輩は、問題を抱えてはいるが、いい人たちで、その道のプロから指導される勉強は、実践的で面白い。やがて、SM科三年の美人生徒会長にあこがれる淳史は、生徒会を手伝うことになるが、水商最大のイベントである文化祭が目前に迫っていた。



お盆が過ぎたら授業がまた始まるワン。暑いからって、冷たいものばかり食べないで体調を整えて、また元気に登校してくださいネ。

